

## 高校男子テニス部 北部支部春季テニス大会 複・団 2冠達成！

5/3(水)、5/4(木)に那須野が原公園で北部支部春季テニス大会が行われました。

結果、小田選手と齋藤選手（ともに高3）のペアがダブルスで優勝、団体戦でも優勝し、複・団での2冠を果たしました！！

シングルスでは、岡村選手（高1）が第3位(タイ)入賞、県大会の出場権を獲得しました。

ダブルスでは小田選手と齋藤選手（ともに高3）ペアの優勝に続き、橋本選手と高橋選手（ともに高2）のペアが第3位(タイ)入賞し、県大会への出場権を獲得しました。

※ダブルス・シングルスともに、北部から県大会への出場は4枠。

【団体】（※敬称略。S：シングルス、D：ダブルス）

団体戦は選手4人のシングルス2本+ダブルス1本の3本勝負で決着。3試合同時展開。

（2本先取した学校が勝利、初戦のみ打ち切りなし。） 結果は以下の通りです。

【初戦（準決勝）】

対戦校…高根沢（2-1で勝利）

D：今野・高田 ○6-4

S1：小田 ●2-6

S2：齋藤 ○6-2

【2回戦（決勝）】

対戦校…矢板（2-1で勝利）

D：今野・高田 ●2-6

S1：小田 ○7-6(7)

S2：齋藤 ○6-3

決勝では前年度王者の矢板高校を相手に、最後の1試合が奇跡の巻き返しを遂げ、辛勝しました！！

（以下、時系列の試合内容詳細）

ダブルス今野・高田ペアは初戦の勢いを削がれ、今大会個人シングルス第3位(タイ)がいるペアに2-3から巻き返せず苦戦し、2-6で惜しくも敗北。傍らでは、キャプテンのS2齋藤選手が4-2でリードし、ポイント奪取ごとに雄叫びをあげ、チームを鼓舞しました。

その時点で、部長のS1小田選手の試合は0-5劣勢カウント。相手選手は今大会個人シングルス優勝者。4月の関東予選県大会でも小田選手が4-6で敗北を喫した強敵でした。

スコア的に見ればDとS1の2敗による打ち切り目前でしたが、齋藤・小田両選手も、決着がつくその最後まで健闘し、諦めませんでした。

S2齋藤選手が6-3で白星をつけ、団体としては1勝1敗。その時点でS1小田選手は善戦し、2-5カウントに挽回しました。

両校の応援陣が最後の1試合を見守るなか、矢板高校は最後のとどめの1ゲーム先取を待ち望み、かたや幸福の科学学園は1ポイントのリード、1ゲームごとの巻き返しを信じて応援しました。

そこから約40分、マッチポイント（試合終了直前リーチの状況）を何度かしのぎ、両選手の激しいラリー応酬が続いた結果、6-5カウントに逆転！最後は相手も意地を貫き6-6タイブレークに突入しました。（00ポイントカウントからの7点先取、以降2ポイント差がつくまで続行）

そこからさらに約20分、タイブレークカウント7-7までシーソー状態が続きました。相手側のサーブをブレイクし、最後は小田選手渾身のサーブとウィニングショットが相手のミスを誘い、見事9-7で決着。

劇的な逆転勝利で、2018年度以来5年ぶりの北部春季団体優勝を果たしました！

当日現地の最高気温は26℃、照りつける日射のなか、選手はもちろん、審判、応援陣もよく頑張りました。高校3年生のレギュラーは5/27(土)のインターハイ予選県大会（団体戦）で引退となります。最後まで悔いのないよう、チームで戦えたことを誇りに思えるよう、一球を軽んじず、好機を逃さず、積み重ねた鍛錬への信頼を貫き、戦って参ります。応援ありがとうございました！

高校男子テニス部顧問：工藤、三浦

